

2020. 4. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、しばらくの間、中止させていただきます。

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『はっけよーい』 ケロボンズ/作 いぬんこ/絵 ポプラ社 2020.3 ¥1000

今日はみんなでおすもうだ！まずはねずみちゃんと、はっけよーい！のこったのこったのこった～。えいっ！こてっ！ねずみちゃんの負け！あなたの勝ち！今度はにわとりくん、はっけよーい のこったのこったのこった～。えーいっ！こけーっ！にわとりちゃんも負けちゃった。読者と対決する動物たちの気迫漂う表情に、思わず押し手をしてしまいそうになる参加型おすもう絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『きえるあひる』 なつめよしかず/さく 福音館書店 2020.3 ¥900

お天気のいいある日、4羽のあかちゃんを連れて池にやってきたあひるのお母さん。泳ぎだしたお母さんの後をあかちゃんたちも一列になってつづく。その後ろからは、しのびよる大きな黒い魚が…。あれ？一番後ろの赤ちゃんが消えた！ページをめくると、また赤ちゃんが消えた！あれあれ？とうとうみんな消えちゃった！と思ったら…？可愛らしく微笑ましい、ユニークな絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『しばふって、いいな！』 レオーネ・アデルソン/文 ロジャー・デュボアザン/絵 こみやゆう/訳 瑞雲舎(発売) 2020.3 ¥1400

長いのもあれば短いものもある、お日さまに当たるときらきら輝き、いつのまにか大きくなって、甘い香りでちくちくしてて…これなんだ？答えは…そう、草！私たちが寝転がったり踊ったりするしばふの草はともいって気持ち。でも虫にとって草の中はジャングルだし鳥は獲物を探すのたいへん。視点を変えると違う景色が見えてくる。文章もテンポよく、緑の鮮やかな色合いが美しい絵本。

『まひるのけつとう』 マヌエル・マルソル/作 中川ひろたか/訳 光村教育図書 2020.2 ¥1600

荒野で、弓矢をかまえるネイティブアメリカンとピストルを持ったカウボーイ。小川を挟んでならみあう二人。今まさに決闘がはじまろうというとき、ピストルに小鳥が…。「ちょ、ちょっとごめん。」とタイムを出すカウボーイ。その後も、機関車が通りかかったり、馬に帽子をとられたり、と決闘を続けようとする二人に邪魔が入る。ゆる～い空気感が漂うユニークな映画仕立ての絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『そらいろのてがみ』 ながしまひろみ/さく・え 岩崎書店 2020.2 ¥1400

ある日ゆきちゃんに手紙が届く。空色の封筒に空色の便せん。そこには、たんぽぽの押し花と「もうすぐはるがきます」の文字が。かいだことのあるいいにおい、ぬるい風やおひさまのぬくもり。「これが、はるか」とゆきちゃんはある朝、また空色の手紙が届き…。移ろいゆく季節を感じ、手紙を楽しみに待つ女の子の姿が微笑ましい。優しいタッチで描かれた心温まる絵本。

『あっくとデコやしき』 八百板洋子/文 垂石真子/絵 福音館書店 2020.3 ¥1500

あつおの住む福島の三春は、デコという張り子の人形で知られ、あつおの父さんも仕事場のデコ屋敷で人形を作っている。母さんは赤ちゃんの世話で忙しく、あつおも手伝いを頼まれてばかり。弁当を届けるよう頼まれデコ屋敷に向かうが、父の姿はなく、デコ人形の目が光りだし…。妹が生まれ複雑な思いを抱えるあつおが、優しく強く成長していく姿が印象的。春にぴったりの絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『りんごだんだん』 小川忠博/写真と文 あすなろ書房 2020.2 ¥1300

真っ赤なりんご。ずっとしまっておいたらどうなる？119日目、りんごはだんだんしわしわに。207日目、ぱんぱんにふくらんで果汁が出てきた。220日目、しなしなに。227日目、ぐんにやりに。そして白いカビが！290日目、小さな虫が出現。このあとりんごはどうなっちゃうの？りんごが朽ちてゆく346日の姿を追った写真観察絵本。巻末に4種類のりんごのダイジェスト版。

<読み物-小学校低学年から>

『おひめさまになったワニ』 ローラ・エイミー・シュリッツ/さく プライアン・フロッカ/え 中野怜奈/やく 福音館書店 2020.2 ¥1600

コーラ姫には、1日3回の入浴に国の治め方の勉強、縄跳びのトレーニングと、将来立派な女王になるためのスケジュールがびっしり。犬を飼うことも許されず、助けを求めた手紙を窓からとばしたところ、城に届いたのはなんとワニ。姫の代わりになって一日城で過ごすので、姫はゆっくり遊んでくればよいと提案。果たして…。コールドコット賞、ニューベリー賞を受賞した二人による作品。

『山のちょうじょうの木のてっぺん』 最上一平/作 有田奈央/絵 新日本出版社 2019.9 ¥1300

いがらしくんとにしやんは、幼稚園のころからの仲良し。にしやんがなんだか元気がなさそうなことに気づいたいがらしくん、尋ねてみると、犬のごんすけが死にそうだという。そこで学校帰りにごんすけの様子を見に行くことに。にしやんは、ごんすけが死んだ後のことを想像していた。初めて接する死を描いた作品。第66回青少年読書感想文全国コンクール小学校低学年の部課題図書。

<読み物-小学校中学年から>

『ねこと王さま』 ニック・シャラット/作・絵 市田泉/訳 徳間書店 2019.12 ¥1600

王様は、一番の友だちのねこと12人の召使いと、立派なお城に住んでいた。ある日、火を吹くドラゴンのせいでお城は火事。召使いは出ていってしまい、ねこと二人で「おしろ横町三十七番地」の家に住むことに。今まで何も自分でやったことのない王様だったが、だんだんと日常生活をうまくこなせるようになる。第66回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年の部課題図書。

『トラブル旅行社(トラベル) 砂漠のフルーツ狩りツアー』 廣嶋玲子/文 コマツシンヤ/絵 金の星社 2020.3 ¥1000

家族で飲むはずの珍しいジュースを思わず一人で飲んでしまった大悟。慌てて同じ物を買って行くがどこにも売っていない。落ち込んだ大悟のところに見れたミミズクのトワは、大悟を「トラブル旅行社(トラベル)」へ案内する。この会社、困っているお客に、トラブルを解決できる最高の旅を提供するというのだ。大悟を待ち受けていた砂漠のフルーツ狩りツアーとは？冒険ファンタジー。

<読み物一小学校高学年から>

『魔女ラグになれた夏』 蓼内明子/著 PHP 研究所 2020.3 ¥1400

長女は大学2年、次女は高1、そして三女の私は小6でみんなオリンピックの年生まれ。東京オリンピックが開催された2020年8月、大黒柱のお父さんが大腸がんを発症。その状況を知りながら、次女がアルバイト代を手に、東京へ出て行く。いつも自分勝手だけど、昔、友だちに取られた魔女ラグのキーホルダーを取り返してくれた、頼もしい姉でもあった。家族愛を描くひと夏の物語。

『月(るな)と珊瑚』 上條さなえ/著 講談社 2019.7 ¥1400

珊瑚は、勉強が苦手な小6の少女。一念発起して、漢字を習得するために日記を書くことに。ある日、珊瑚のクラスに、月(るな)が転入してくる。かっこいい月に憧れを抱く珊瑚は、月にいいところを見せたくて、勉強を頑張るのだった。珊瑚の日記を通して、沖繩の「今」を生きる少女たちの日常を描く。第66回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部課題図書。

<読み物一中学生から>

『シトロン坂を登ったら』 白鷺あおい/著 東京創元社 2020.2 ¥720

時は春、大正の御代。私、花見堂小春が通うのは、1年から5年まで合わせても30人ばかりの横浜女子仏語塾。実は、ここは魔女養成学校。しかも生徒の半数は「妖魅」と呼ばれる妖怪たち。私は抜け首。最近この界限に南米産の豹が出没するようになり、友達と共にその謎に迫る。女学校を舞台に繰り広げられる魔境冒険小説、「大正浪漫横濱魔女学校」3部作の始まり。創元推理文庫。

『てのひらに未来』 工藤純子/作 酒井以/画 くもん出版 2020.2 ¥1400

東京の小さな町工場が点在している町にあるうちの工場、笹川精密工業。2年前、15歳で住み込みで働きに来た天馬は夢を語るが、優柔不断なあたしは中2の今もなんの夢もない。ミサイル部品の依頼を断った父の思い、天馬のおばあちゃんの戦争の傷、それぞれの家族の過去の物語を知ることで自分の生き方を考え、平和への思いを深くしていく二人。少年少女の成長を爽やかに描く。

『ぼくたちがギンターを殺そうとした日』 ヘルマン・シュルツ/作 渡辺広佐/訳 徳間書店 2020.3 ¥1400

それは1947年、ぼくがおじさんの農家で過ごした最後の夏のことだった。卵泥棒を企てたぼくたちは、しつこくついてくる難民の子ギンターに酷い仕打ちをしてしまった。大人にばれるのを恐れた仲間のリーダーが彼を殺す綿密な計画を立て、皆で実行することに…。第二次世界大戦終戦直後のドイツの農村を舞台に、著者の実体験をもとにした少年たちの決して忘れられない出来事を描く。

<ノンフィクション一小学校低学年から>

『「じどう車くらべ」ずかんをつくらう』 高木まさき/監修 青山由紀/編集 松永立志/編集 光村教育図書 2020.2 ¥2800

ダンプトラックにキッチンカー、はしご車にれいとう車。各自動車の説明文を読んで、図鑑を作ってみよう。自動車あてクイズにも挑戦！「やってみよう！楽しいずかんづくり」シリーズ。他に『くちばしずかんをつくらう』『うみのかくれんぼずかんをつくらう』『どうぶつのおちゃんずかんをつくらう』の全4巻。小1国語教科書(光村図書)「じどう車くらべ」に関連した本。

<ノンフィクション一小学校中学年から>

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』 中山由美/文・写真 学研プラス 2019.8 ¥1400

北極と南極、どっちが寒い？氷の量はどちらが多いの？北極と南極を比べると、似ているようでちがうところがいっぱい。地球温暖化やオゾン層の破壊の影響を強く受けている、北極・南極から、地球のことを考える。著者は、女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後北極も取材した朝日新聞の記者。第66回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年の部課題図書。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『風を切って走りたい！夢をかなえるバリアフリー自転車』 高橋うらら/著 金の星社 2019.9 ¥1400

堀田健一さんは、子どものころから物作りが好きで、工業高校を卒業後バイク会社に入社。独立後、自分の子どものために作った「ふみこみ式」の三輪車がきっかけで、体の不自由な人のための自転車の開発を始める。40年で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田さんの挑戦を描く。第66回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部課題図書。

『気をつけよう！ネット動画 ①動画を見るのがやめられない』 小寺信良/監修 汐文社 2020.1 ¥2500

いつでもどこでもネット動画を視聴できるようになった今、過去5年間で中高生の動画視聴率は増加。動画を見るのがやめられなくなって依存状態になっている子が多発。そんな長時間視聴で起きる生活や体への影響、動画にハマったために起きたトラブル例などを解説する。親子で読みたい記事も掲載。他に『動画投稿に潜むワナ』『大丈夫！動画の著作権』の全3巻。

<ノンフィクション一中学生から>

『わたしの外国語漂流記 未知なる言葉と格闘した25人の物語』 河出書房新社/編 河出書房新社 2020.2 ¥1400

密漁銃の取材に出かけたジャーナリストが、取材の道具として使う命がけの英語や、タレント・LiLiCoが18歳で来日し、身に付けた日本語など、一人ひとりの生き方に密着した言語体験記。プナン語、アカン語、ヤノマミ語、奄美語などマイナーな言語も取り上げ、言語学者、アスリート、シェフなど多彩な人々が、自身の学習法とリアルな体験を語る。「14歳の世渡り術」シリーズ。

『新・大学でなにを学ぶか』 上田紀行/編著 岩波書店 2020.2 ¥860

高校までの「勉強」と違って、大学の学びは「探究」。行動し、出会い、耳を傾け、あなたの人生の課題「思い」に出会うための自由な場所が大学。そんな大学での学びの魅力を、池上彰をはじめとする東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の13人の教員が、様々な視点から「思い」を熱く語る。これから大学をめざす人や、今、大学で学んでいる人に役立つ。岩波ジュニア新書。

<研究書>

『えほん・絵本・134冊 子どもと大人をつなぐ。』 増田喜昭/著 新田新一郎/責任編集 学研教育みらい 2020.2 ¥1800

40年以上前に、三重県四日市市に子どもの本専門店「メリーゴーランド」を開いた「ひげのおっさん」増田喜昭。子供たちと本気で関わり、絵本作家と出会い、育て、町づくり・人づくりまで広がっていった著者の生き方の魅力が詰まった一冊。おすすめ絵本や児童書の紹介、作家との対談を収録。「子どもの本専門店」店主との対談では、下関市「こどもの広場」の横山眞佐子も参加している。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。